

9月議会2012年度沼田市決算審査から問題点を探る

人口は前年比51.8人減少歯止めかからず

沼田市の人口は、2005年の合併時55,503人以来、毎年400～500人の人口が減少しています。12年度も前年度比51.8人が減少し、歯止めをかけるどころか、2年続けて500人以上と減少幅が大きくなっています。このままいくとあと5年で5万人を切ります。

出生数が減少している。学校を卒業しても働く場所がないので、若者が出て行ってしまふ。高等教育機関（大学・専門学校）がない。などが大きな理由と思われるが、これらには様々な原因がありますが、星野市政がこれらの原因の究明と解決に有効な手だてを講じていないということは結果から見ても明らかです。

農業・林業・観光業など地場産業にもっと大きな力を注ぐべき

働く場所という「企業誘致」というのが、どこの自治体でも共通の施策です。本市では、市の施策に沿って企業誘致が成功したのは、1989年に北部工業団地に2社が進出したのが最後で、下之町のグリーンベル21にも一定規模の販売会社が進出したにもかかわらず、すべて撤退しています。沼田市は80%以上が山林です。山・土・水は豊富です。農業・林業・観光業などにもっと力を注ぐべきです。井之川議員はこれらについて数々の提案をしていますが、市長はほとんど耳を貸しません。

井之川博幸市議



徹底した福祉のまちづくりを

誰もが安心して住める「福祉のまち」づくりで、人口の定着化が必要です。今でも子育て支援や高齢者支援で近隣町村に負けています。合併前に利根村で実施していた「福祉施策」なども大きく後退しています。国の悪政に追随し、国にいわれたことだけを実施するのではなく、市独自に福祉を推進し、市民を守るとともに、福祉の充実によって新しい仕事が生まれ、若者が働くことができます。小さな自治体だからこそ「住みやすい」地域をつくることができます。国の施策にのってムダな開発・公共事業を推進する方向を転換することが必要です。

祝 兄 長 寿 沼田地区敬老会を開催

101歳でゲートボールを！沼田市男性最高齢者などを表彰



市長から表彰される野村俊一さん

10月22日、利根沼田文化会館において、沼田地区敬老会が開催され、9月に行なわれたゲートボール大会に101歳で参加した沼田市男性最高齢者の野村俊一さんが市から表彰されました。また、満77歳、満88歳の高齢者の方々に敬老祝金が支給されました。

かわいいけど速い！強い！保育園運動会



どちらが1等？横塚保育園運動会徒競走



てっぺんまでもう少し熊の子保育園運動会竹登り

雨の中：頑張りました！観客もスタッフも



利根中央病院 きらめき祭



第31回くらしと健康まつり 十王公園で開催されたくらしと健康まつり

しんぶん「赤旗」読者のみなさん！日本共産党に入党して下さい

安倍自民党内閣が暴走しています。憲法改悪に向けて、「秘密保護法案」「国家安全保障会議設置法案」などを国会に提出しています。集団的自衛権は、憲法を変えずに、解釈の変更だけで行なおうとしています。

これらの先に何があるのでしょうか。「戦争」だけはさせないために、この機会にぜひ日本共産党に入党し、ともに闘いましょう。

2013年11月 3日 No.678

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料